

第3学年 算数

第3学年の学習到達目標

- (1) 加法及び減法を適切に用いることができるようにするとともに、乗法についての理解を深め、適切に用いることができる。また、除法の意味について理解し、その計算のしかたを考え、用いることができる。
- (2) かさ、重さや時間などの単位や測定について理解できる。
- (3) 図形を構成する要素に着目して、基本的な図形について理解できる。
- (4) 資料を整理して表やグラフに表したり用いたりすることができ、それらの有用さが分かる。

第3学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	1 たし算とひき算	<ul style="list-style-type: none"> ●筆算形式による3位数・4位数のたし算やひき算の計算のしかたを考え出すことができるようにする。 ●3位数・4位数のたし算やひき算の計算が確実にできるようにし、それを使うことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○3位数・4位数どうしの加法・減法の筆算 ○加減の演算決定 ○工夫してする加減計算や2位数どうしの加減の暗算
	2 かけ算	<ul style="list-style-type: none"> ●0や10のかけ算や(何十・何百)×(1位数)の計算のしかたを考え、かけ算九九をもとにしてできていることを理解する。 ●かけ算について成り立つ性質を調べ、計算のしかたや計算の確かめに使うことができる。 ●0の乗法や何十・何百に1位数をかけるかけ算ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○乗数が1ずつ増減するときの積の変化の理解 ○10, 0の乗法の意味と計算 ○(何十, 何百)×(1位数)の計算
	3 かけ算のひっ算	<ul style="list-style-type: none"> ●(2, 3位数)×(1位数)の計算がかけ算九九などをもとにしていることを理解する。 ●(2, 3位数)×(1位数)の計算を理解し、かけ算の筆算のしかたについて知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○(2, 3位数)×(1位数)の筆算 ○(2位数)×(1位数)の暗算
	4 時間と時こく	<ul style="list-style-type: none"> ●日, 時, 分, 秒について知り、それらの関係を理解する。 ●簡単な場合について、必要な時刻や時間を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○時刻と時間の概念と区別 ○時間の単位の関係の理解 (1時間=60分, 1日=24時間, 1分=60秒) ○午前, 午後を区別して時刻をよんだり, 時間や時刻を求めたりすること
	5 表とグラフ	<ul style="list-style-type: none"> ●資料を分類整理して、二次元表にまとめるしかたを理解する。 ●棒グラフのよみ方やかき方を理解し、それらをもとに用いることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○棒グラフについての理解とよみ方, かき方 ○資料を収集し2つの観点からの分類や整理による表の作成
	6 長さ	<ul style="list-style-type: none"> ●長さについて理解し、簡単な場合について、その測定ができるようにする。 ●長さの単位キロメートル (km) について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○巻尺のしくみと使い方の理解 ○巻尺によるいろいろな物の長さの測定 ○長さの単位キロメートル (km) の理解 ○道のりと距離の求め方
	7 かさ	<ul style="list-style-type: none"> ●水のかさの多少を比べて、測定の意味とその単位の必要性に気づく。 ●かさの単位リットル, デシリットル, ミリリットルを理解し、簡単な測定ができる。 ●かさもたしたりひいたりできることを知り、計算をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○かさの概念と測定の意味の理解 ○かさの単位「リットル (ℓ), デシリットル (dℓ), ミリリットル (ml)」の理解 ○かさの単位の関係の理解
後期	8 円と球	<ul style="list-style-type: none"> ●コンパスの有用性や円の切り口は、円の中央を通る平面で切った場合が最大であることに気づく。 ●コンパスを使って円を書いたり、長さを移し取ったりすることができる。 ●円や球の概念、「中心」「半径」「直径」の意味や性質などがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○円の定義・性質の理解 ○コンパスの使い方の理解 ○級の性質の理解 ○円の性質を使っての問題解決
	9 わり算	<ul style="list-style-type: none"> ●わり算が使われる場面を知り、等分除と包含除をふくめたわり算の意味を理解する。 ●わり算とかけ算の関係を理解し、余りがない場合の九九を1回使うわり算の計算ができる。 ●$a \div a$, $a \div 1$, $0 \div a$ についてのわり算を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○除法の意味 (等分除, 包含除) と, 除法の式と表し方, よみ方の理解 ○九九を使って答えを求めること ○1や0の除法の意味の理解と計算 ○「わり算の本」作り
	10 形	<ul style="list-style-type: none"> ●ものの形について辺や頂点, 直角を知り, 正方形, 長方形, 直角三角形について理解する。 ●方眼紙などを使って, 正方形, 長方形, 直角三角形をかくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○直角の意味の理解 ○長方形, 正方形, 直角三角形の概念と性質の理解 ○方眼紙を利用した作図

後期	11 大きな数	<ul style="list-style-type: none"> ● 千万の位までの整数の読み方、かき方、大小などを理解する。 ● ある数の10倍、100倍、10でわった数の大きさについて知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1億未満の数の位取りの原理、読み方、かき方、数の構成、順序、系列、大小の理解 ○ 10倍、100倍した数、10でわった数
	12 三角形	<ul style="list-style-type: none"> ● 二等辺三角形や正三角形の概念や性質を理解する。 ● 二等辺三角形や正三角形を作図することができる。 ● 角の概念を理解し、角の大小、相等を調べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 二等辺三角形や正三角形の定義や書き方の理解 ○ 二等辺三角形や正三角形の角の性質の理解 ○ 二等辺三角形や正三角形を使った模様作り ○ 角の概念の理解
	13 あまりのあるわり算	<ul style="list-style-type: none"> ● わり算の意味の理解を深め、あまりのある場合の計算ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ あまりのある場合の計算と答えの確かめ ○ あまりを処理する問題
	14 2けたのかけ算	<ul style="list-style-type: none"> ● (2位数)×(2位数)の計算のしかたを理解する。 ● (2位数)×(2位数)の筆算が確実にでき、適切に使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ (1位数、何十)×(何十)の計算 ○ (2位数)×(2位数)の筆算
	15 重さ	<ul style="list-style-type: none"> ● 重さを比べたりはかったりする活動を通して、重さの概念を理解し、重さをはかることができる。 ● 重さの単位「g」「kg」を知り、その相互関係(1kg=1000g)について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 重さの概念の理解 ○ 重さの単位「g」と「kg」について理解 ○ はかりの目もりの読み方と重さの測定 ○ 重さについての簡単な加法、減法
	16 箱の形	<ul style="list-style-type: none"> ● 箱の形をしたものを観察したりつくったりすることができる。 ● 図形を構成する「面・辺・頂点」について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 直方体・立方体を構成する面の形、面・辺・頂点の数などの構成要素の理解 ○ 直方体の展開図と立体との関係の考察
	17 そろばん	<ul style="list-style-type: none"> ● そろばんの仕組みや数の表し方・読み方を理解する。 ● そろばんを使った加減の仕方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ そろばんの仕組み・数の表し方・読み方の理解 ○ そろばんを使った加減の仕方の理解
	18 3年のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 既習の用語や定義、性質が分かり、計算や作図が適切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ カレンダー作りを通しての総合的な問題 ○ 既習の学習事項

評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点 それぞれ学習を進める中や学習後に評価します。</p> <p>【算数への関心・意欲・態度】 知識や技能などの有用さ及び数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることのよさに気づき、進んで生活に生かそうとする。</p> <p>【数学的な考え方】 算数的な活動を通して、数学的な考え方の基礎を身につけ、事象について見通しをもち筋道を立てて考える。</p> <p>【数量や図形についての表現・処理】 整数の計算が確実にでき、それをを用いるとともに、ものの大きさを測定したり、図形を構成要素に着目して構成したり、資料を表やグラフに表したりする。</p> <p>【数量や図形についての知識・理解】 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の計算の意味、量の単位と測定の意味、基本的な図形の意味及び資料の表し方を理解している。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>① 学習意欲や思考力・判断力・表現力の重視 知識や理解、技能だけでなく、児童の学習意欲や思考力・判断力・表現力を重視して評価します。</p> <p>② 多面的な評価 ペーパーテストだけでなく、日常の学習の様子、発言、課題への取り組みの状況、ノートの整理の仕方、自己評価、相互評価、毎時間の伸び、疑問、願いなど様々な面から評価します。</p> <p>③ 自己評価の重視 学習の仕方や理解の程度など、児童の自己評価も参考にします。</p>
---	---

特色ある学習方法

<p>(1) 授業では、児童の思考の援助として、具体物やプリント等を用意して展開します。</p> <p>(2) サイコロやパズル、迷路などゲーム性を取り入れ、楽しみながら学習します。</p> <p>(3) ノートは学習の足跡です。日付、曜日、教科書のページの記入といった基礎的なことをはじめ、学習への理解を定着させたり、深めたりするためにも、筆算の書き方や式や答えの書き方など、基礎的なノートの使い方を確実に身に付けさせます。</p>

使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書「算数 3年」(学校図書) ○ 計算ドリル ○ 絵、VTR、ブロック等半具体物の活用 学習の興味を高め、理解を深めるため、事物の絵、交通量VTRを提示したり、半具体物を操作する算数的活動を取り入れたりします。 ○ コンピュータの活用 ドリル学習を楽しく行うための1つの手立てとして、コンピュータソフトを使って学習します。

留意事項

(1) ノートの種類と使い方

3年生は17マスのノートを使います。学校での学習活動に使用したり、家庭学習で活用したりします。年度当初は学校から配布したノートを使い、使い終わった時点で、同じノートを各家庭で用意してください。

(2) 家庭でのドリル等の学習にご協力をお願いします。

① 毎時間の復習は確かな理解につながります。復習としてドリル学習を出しますので、見てあげてください。そして、家族の団らんの時間にお子さまの伸びを話し合うなどして、努力を認めてあげてください。

② 3年生で学ぶ除法や乗法も、2年生で学習した「かけ算九九」が基本です。家庭でもお子さまの九九の暗唱にご協力ください。

(3) 学習したことが実際の生活でも生かされるように、家庭でもご協力をお願いします。

① 「今、何時何分かな。〇〇時まで、あと何分あるかな。」などと、家庭でも話し合うなどして、時刻と時間について実生活の中で経験させてください。

② お子さんにお手伝いをいっぱいさせてください。3年生では、かさや長さ、重さなどの測定も学習します。家庭でのお手伝いを通して、計量カップや計量スプーンなどの理解も深まっていくと思われます。